

# AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 信方浩志郎

## 貯蔵管理

貯蔵庫は、温度5〜8℃、湿度85%を目安とし、2週間に一回程度は腐敗果の除去や貯蔵箱の差し替えを行います。貯蔵庫内の果実が減少してくると湿度が低下しやすいので注意しましょう。

## 樹勢回復

次年度へ向けて樹勢の回復を目的に尿素500倍等の窒素系液肥の葉面散布や暖かい日のかん水を実施しましょう。また、寒害による冬季の落葉は、樹勢を低下させ翌年度の着花量を減少させるので、寒害の心配される園地では寒冷紗やコモなどで樹を被覆して落葉防止に努めましょう。

## 土づくり

根の細根量を増やし、施肥の吸収効率の改善を目指し土壌改良を行います。堆肥を投入することで土壌が柔らかくなり、通気性や保水性が向上して新根が発生しやすい環境となります。また、ミカン栽培に適した土壌pHは5.5〜6.3です。土壌が酸性化していると根の発根や肥料の吸収が抑えられてしまうので、苦土セルカや苦土石灰等の土壌改良材を施用しましょう。

- ・ 苦土セルカ2号 120 kg / 10 a
- ・ キノックス 2000 kg / 10 a

## 間伐

2月になると表年が予想される樹や園から剪定に取り掛かります。剪定に入る前に樹と樹が密植していないか、樹が古くなっていないかなど、園地を確認しておきましょう。密植園や老木園は、病害虫の発生や隔年結果を助長します。高品質な果実の安定生産が難しくなるため、間伐や改植を検討しましょう。また、3月の苗木の植え付けをスムーズに行えるように、植え穴などの準備をしてください。